

INTER COOLER Chemical Shine **CS**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

CZ4A LANCER EVOLUTION X

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

御願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：MITSUBISHI LANCER EVOLUTION X
- 型 式：CZ4A
- エンジン：4B11
- 年 式：2007年10月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Chemical Shine
- 製品番号：13118

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。



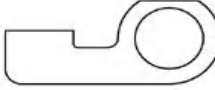











重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■パーツリスト■

インタークーラーASSY	ブラケットI/CLH	ブラケットH/C RH	シリコンホースφ60
 <p>1</p>	 <p>1</p>	 <p>1</p>	 <p>1</p>
異径ホースφ60-φ70	ホースバンド(HS-36)	ホースバンド(HS-44)	キャップボルトM12×60
 <p>1</p>	 <p>3</p>	 <p>1</p>	 <p>2</p>
フランジM8×12	M12ナット	スペーサーRH	スペーサーFL
 <p>2</p>	 <p>2</p>	 <p>1</p>	 <p>1</p>
スペーサーLL	スペーサーLH		
 <p>1</p>	 <p>1</p>		

□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い！

- 作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

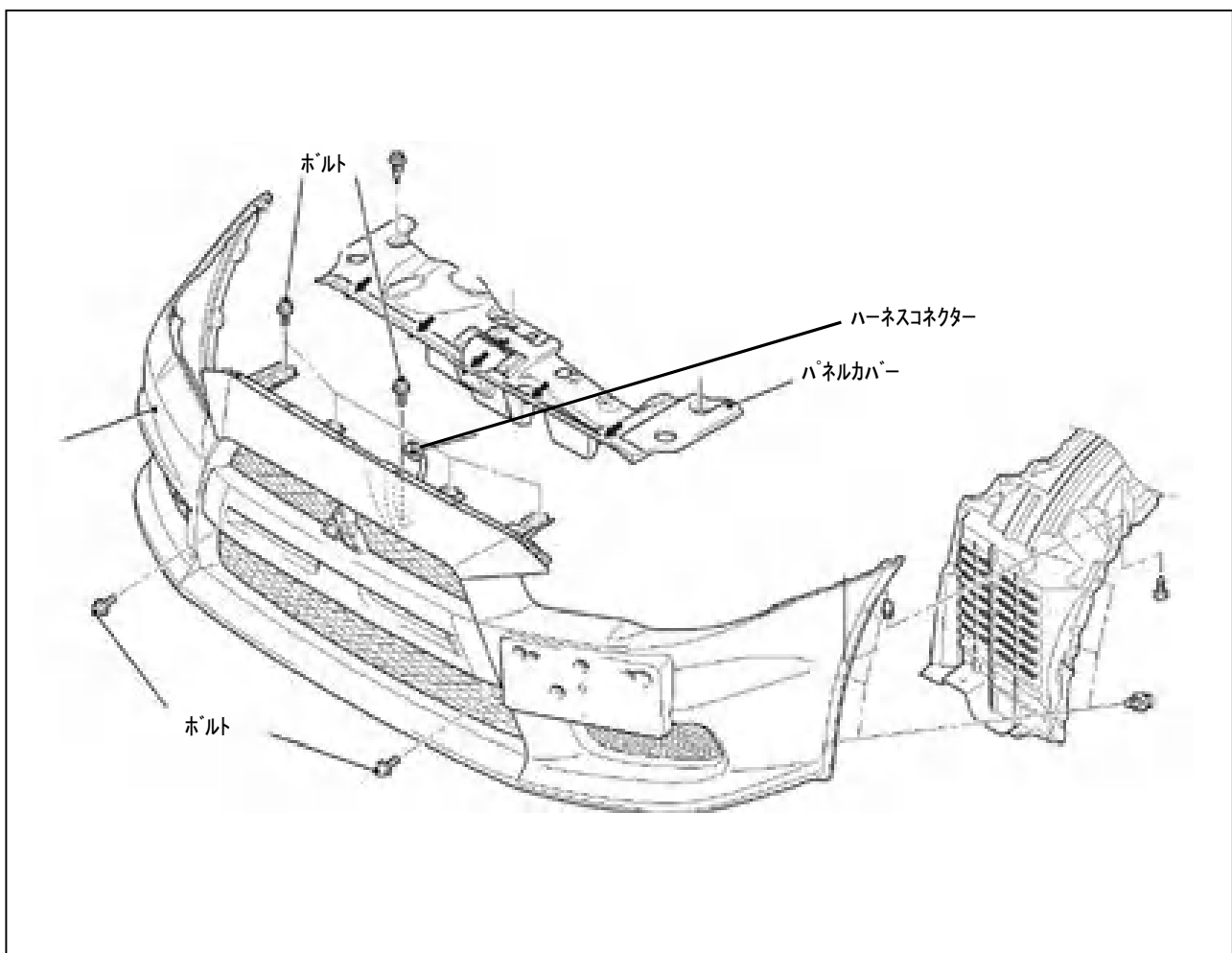
- 純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- 再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

警告 作業中の怪我・火傷

- 装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

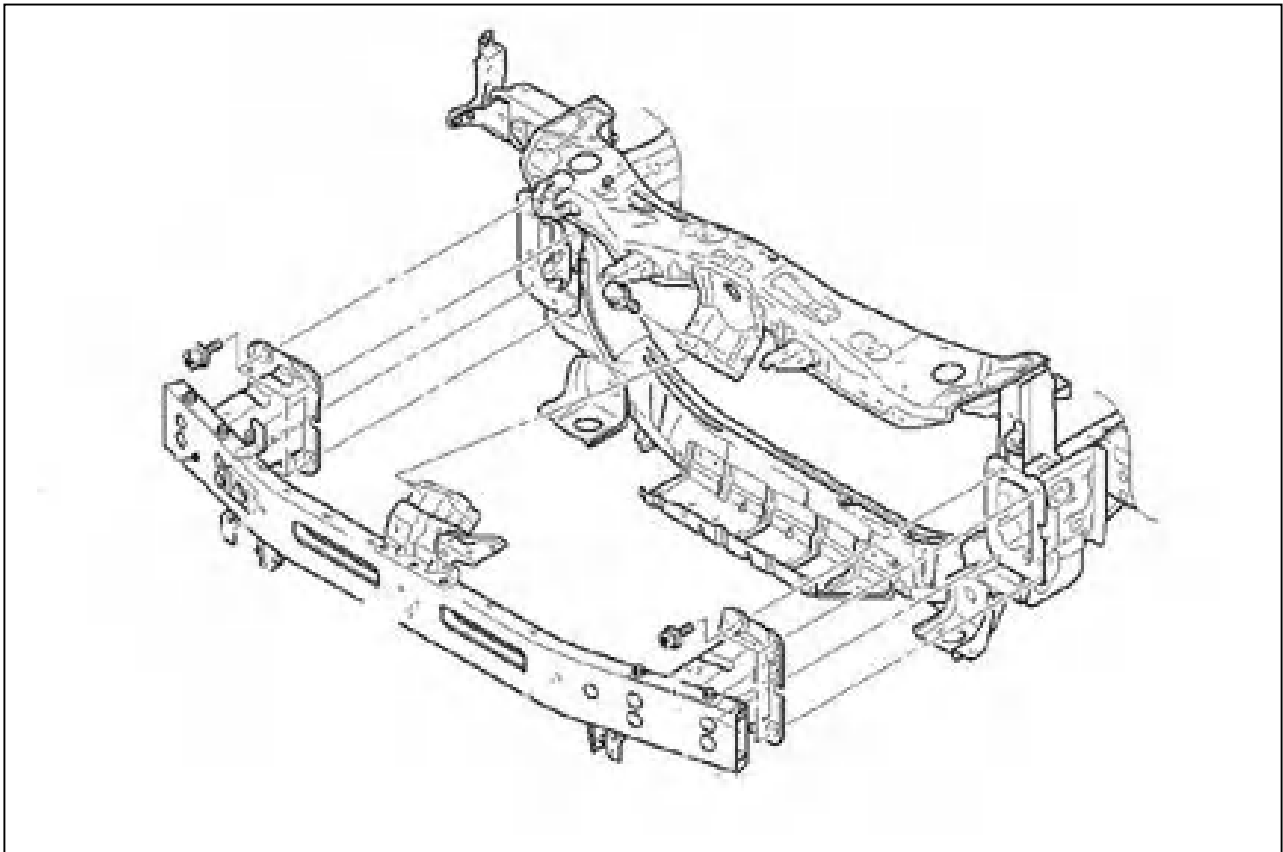
■ノーマルパーツの取り外し■



1、フロントバンパーの取り外し

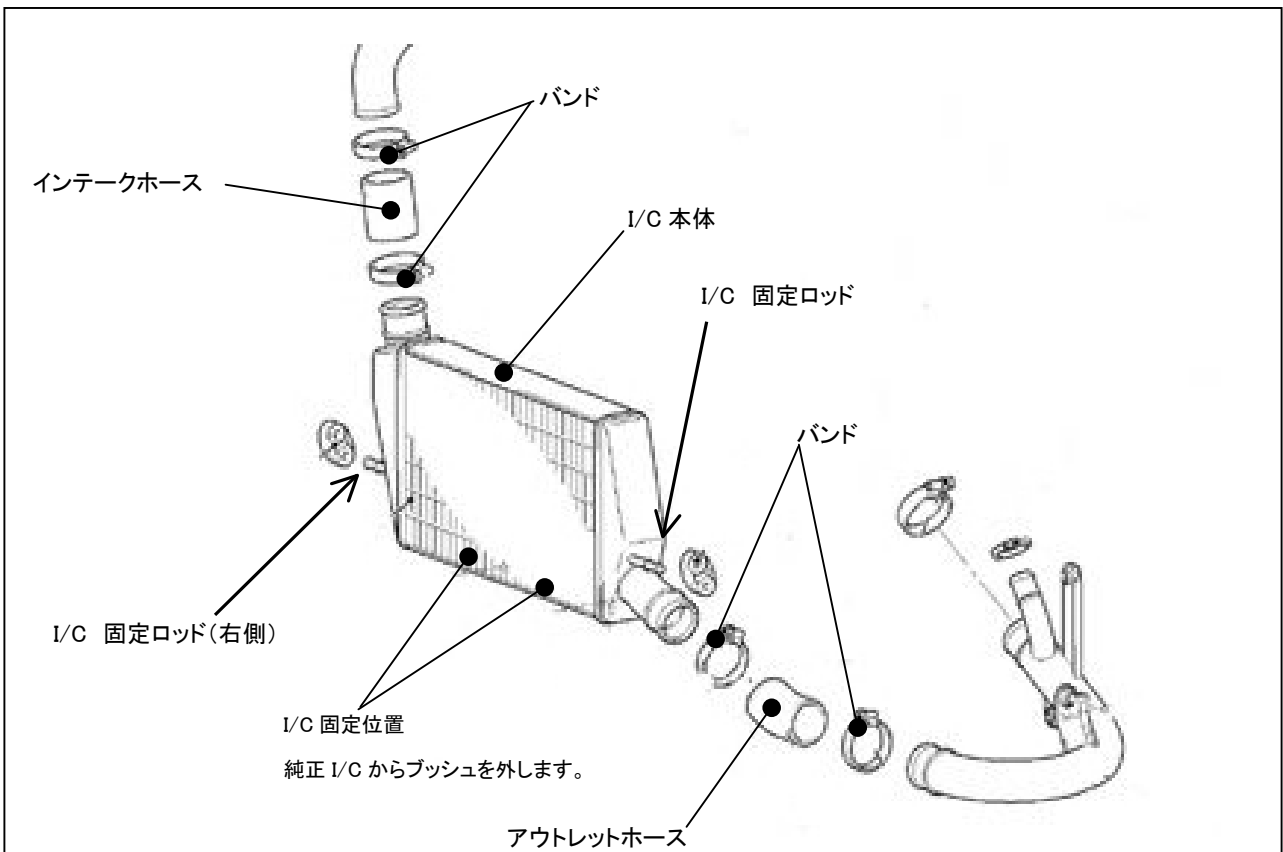
- ①アンダーパネルを取外しておきます。
- ②パネルカバーを取り外します。
- ③フェンダーカバーとバンパーとの取付クリップ（左右4個ずつ）を取り外します。
- ④ハーネスコネクタを切り離します。
- ⑤バンパー前部2箇所、上部5箇所のボルト取り外します。
- ⑥グリル上面のボルト4箇所を取り外します。

注意 ボルト、クリップ類は再使用します。紛失しないように注意してください。



- ⑦コアサポートへ留めてあるハーネスクリップ及びハーネス、ウォーターラインを全て切り離します。
- ⑧左右それぞれ4ヶ所のボルトを外し、コアサポートを取り外します。

2、純正インタークーラーの取り外し



- ①インテークホース側のバンドを緩めます。
- ②アウトレットホースのバンドを緩めます。
- ③I/C 下側の固定ボルト 2 ヶ所を外します。
- ④左右のハンガーブッシュからロッドを抜き取り、I/C 本体を車体より取り外します。
- ⑤外した I/C 本体からサイドタンク右側の I/C 下側のゴムブッシュ 2 ヶ所を取り外します。

■KIT の取り付け

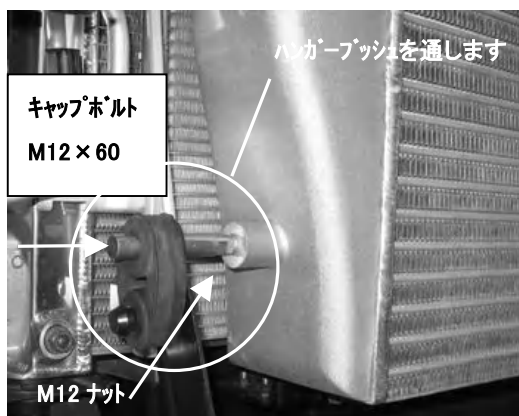


図1

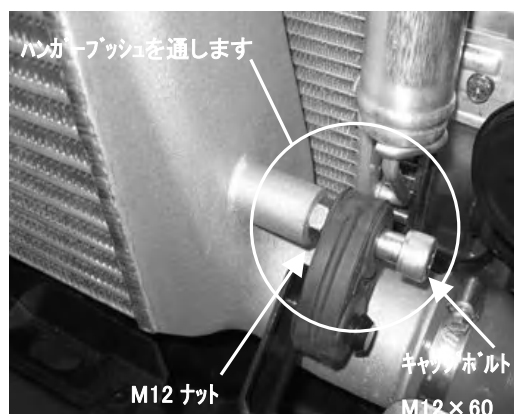


図2

- ①付属のキャップボルト M12×60と M12 ナットをサイドタンク左側部分へ取り付けます。

図 1,2 参照

※ハンガーブッシュを車両から取り外し、M12 のボルトへ通してから取り付けます。

※ハンガーブッシュがまっすぐ掛かるようボルトの位置を調整し、M12 ナットを締めます。

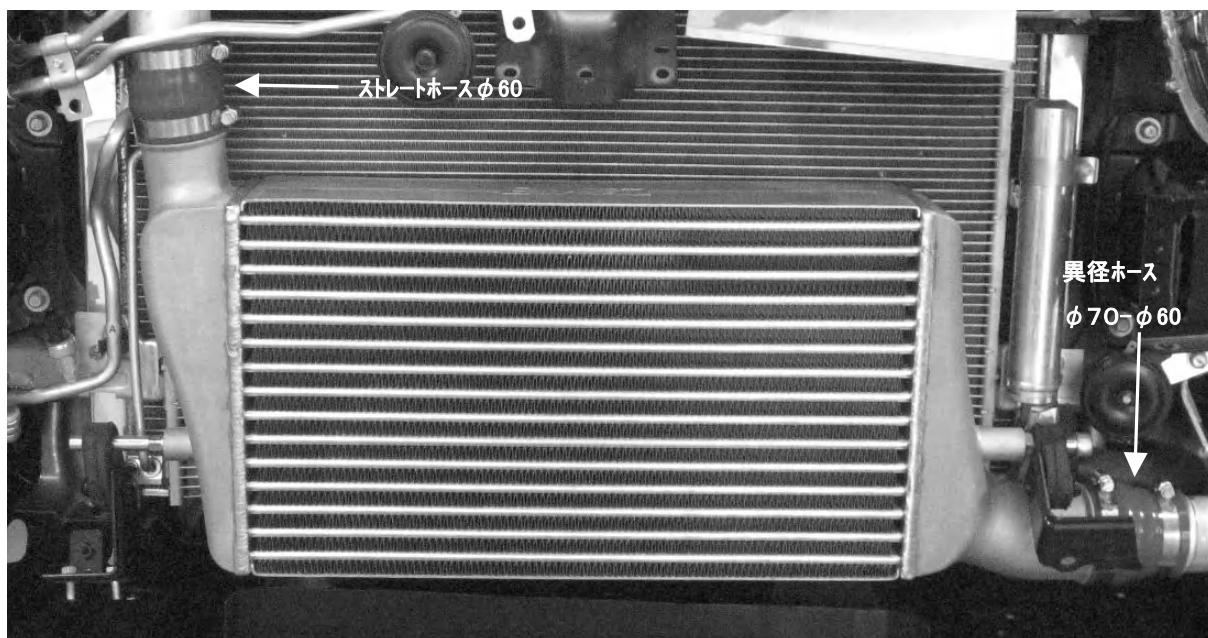


図3

- ②ストレートホースφ60、異径ホースを使い、I/C 本体を車体へ仮付けします。
- ※ホースバンドは、φ60部分はHS-36を、φ70部分はHS-44を使用します。
- ※この時点では仮付けです。

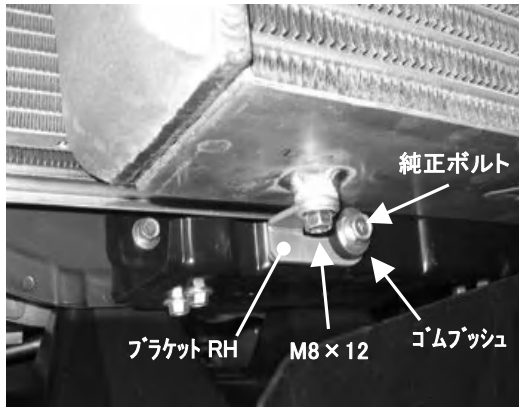


図4

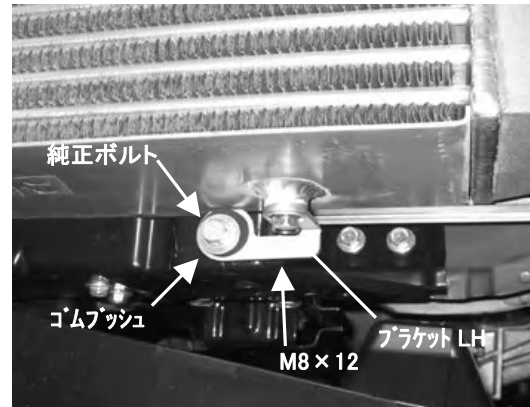
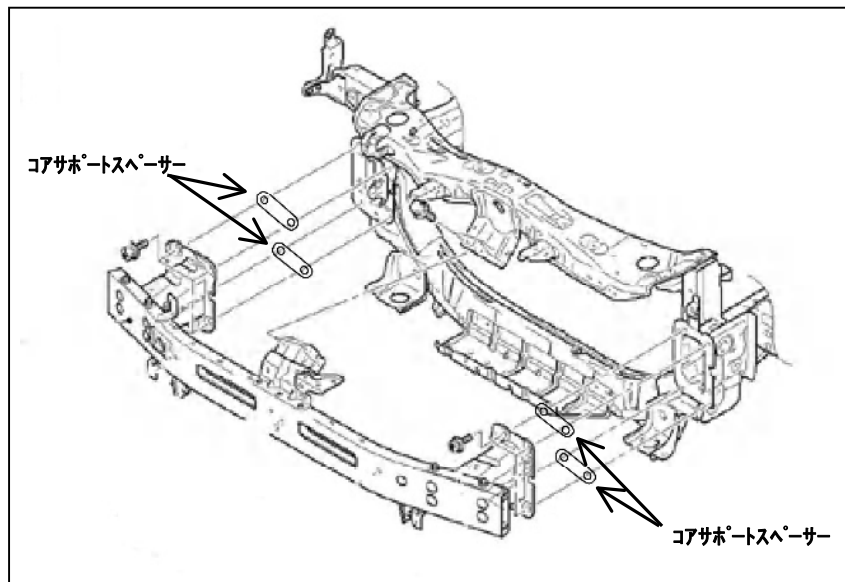


図5

- ③ブラケット I/C RHとブラケット I/C LHを使い、I/C 本体を車両へ固定します。
 ※車体取り付け部には純正よりはずしたゴムブッシュを挟み、純正ボルトで固定します。
 ※I/C 取り付け部には付属のフランジ M8×12で固定します。
- ④周辺に干渉しないよう位置を調整し、全てのホースバンドを締めてI/C 本体を固定します。



- ⑤スペーサーをそれぞれの位置へ挟み、コアサポートを取りつけます。
 ※スペーサーはそれぞれの場所の穴ピッチに合わせて作られています。コアサポートへ当てて、穴ピッチの合う物をそれぞれの場所へ使用して下さい。
 ※ボルトは純正を使用します。
 ※I/C コアへ干渉していないか必ず確認を行ってください。干渉する場合は、再度I/Cのホースバンドを緩め位置調整を行ってください。
- ⑥コアサポートより外したハーネス及びクリップ類を元の位置へ取り付けます。
- ⑦バンパー、パネルカバーを元のように戻します。

以上でKITの取り付けは終了です。

■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行ってください。
- コーナリングランプが点灯するか確認して下さい。
- 各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認して下さい。
- インタークーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか、確認して下さい。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

■必ず確認してください。

テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認して下さい。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行ってください。

BLATZ